

国指定重要無形民俗文化財

六郷のカマクラ

国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」が、2月11日から15日までの5日間、六郷地区で行われました。豊穰祈願の火祭りとして、800年余りの伝統を持つ「六郷のカマクラ」は、「蔵開き」「天筆」「鳥小屋づくり」「どんど焼き」「竹うち」「鳥追い」と続く一連の行事です。期間中、穏やかな天気恵まれ、人々の願いが込められた天筆がひらひらと風になびき、各町内の鳥追い小屋・雪宮の周りでは、子どもたちが楽しそうに遊ぶ光景が見られました。



▲コンクールで最優秀賞を受賞した新町の鳥追い小屋・雪宮（写真上）と町内会の皆さん（写真右）。

- 最優秀賞 ● 新町町内会
- 優秀賞 ● 西高方町町内会
赤城町町内会
- 努力賞 ● 東高方町町内会
旭町町内会
琴平町町内会
大町町内会
上鑓田町町内会



▲3つの酒造店で蔵開きが行われ、酒蔵の見学や試飲などをたくさんの人たちが楽しみました。

▼「六郷のカマクラ」の最高潮「天筆焼き」。子どもたちや観光客の皆さんの思いが込められた天筆が、夜空に舞い上がりました。



▲各町内会では、男衆によって威勢よく餅つきが行われました。



▲枝にもちをつけ、「まゆ玉」を作る子どもたち。稲穂をかたどって豊作を祈願するものです。



▼一連の行事を締めくくる「竹うち」。こしは激しい打ち合いの末、引き分けとなりました。



▲新入学生を祝い、健やかな成長を願って揚げられた野中町内会の紙ふうせん。



▲本館町内会で行われたどんど焼き。火のついた松二才をくぐると、今年一年風邪をひかないと言われています。